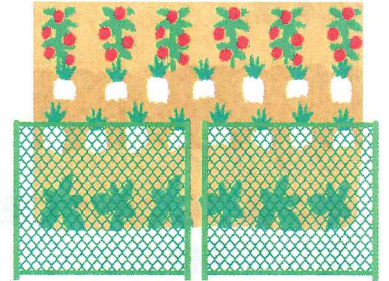


有害鳥獣による被害防止について

田・畑の作物が荒らされるといった農作物の被害が多くなっています。

正しい対策のもと、被害を防止しましょう。



・ネットを張る、柵をたてる。

・定期的に草刈をする。

→草むらは有害鳥獣の棲み家になるので来づらい環境をつくるのが大切です。

・餌付けをしない。

→餌付けは地域への定着や繁殖の原因となるので絶対にやめましょう。また、収穫しない作物や生ごみの放置も餌付けと同じことなので地域ぐるみの対応が大切です。



・見つけても近づかない。

→噛みつかれてケガをしないようにしましょう。

病原菌を持っている可能性があるので絶対に近づかないようにしましょう。

それでも被害がなくならず、困っているという場合には**農政課(☎017-755-2117)**までご相談ください。

①町で現地調査をし、被害状況を聞き取りします。

②捕獲の必要性を確認したのちに捕獲の許可をします。

③町ではこわなを設置します。

(はこわなの数には限りがありますので、お待ちいただく場合があります。)

※わなの設置には免許及び許可が必要です。



主な獣の特徴と足跡

タヌキ

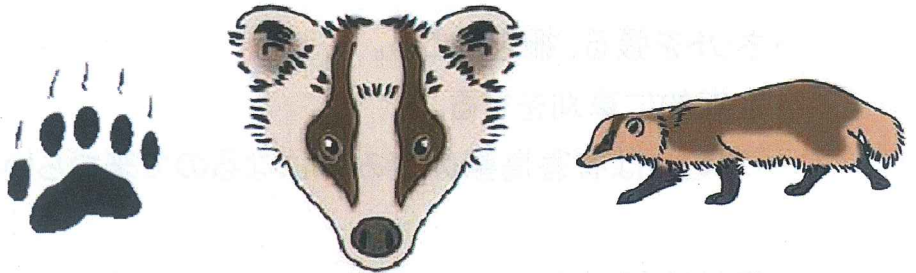
- ・体の色が全体的に茶色。
- ・尾に縞模様はない。
- ・足はほぼ全体が黒い。
- ・4本指。



出典：野生鳥獣被害防止マニュアル（農林水産省）

アナグマ

- ・顔が鼻づらにかけて細長い。
- ・尾に縞模様はない。
- ・足は黒い部分が多い。
- ・5本指で爪が長い。



出典：野生鳥獣被害防止マニュアル（農林水産省）

アライグマ

- ・眉間に黒い筋がある。
- ・尾は縞模様があり、長い。
- ・足は白い部分が多い。
- ・5本指で、指が長く、物をつかむことができる。
- ・特定外来生物



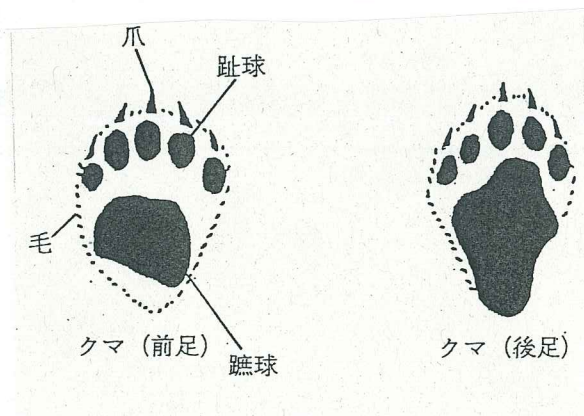
出典：野生鳥獣被害防止マニュアル（農林水産省）

クマ

- ・山に入る際は、クマの出没情報には特に注意しましょう。
- ・ラジオ等で音を出して歩きましょう。クマにこちらの存在を伝えます。
- ・クマのフン、足跡を見つけたら引き返しましょう。近くにいる可能性があります。

※クマに出会ってしまった場合

静かにし、落ち着きましょう。静かにしていればクマはほとんどの場合、立ち去ります。走って逃げるのは危険です。クマは逃げるものを追う習性があり、足も人間よりずっと速いです。



出典：狩猟読本（一般社団法人大日本猟友会出版）